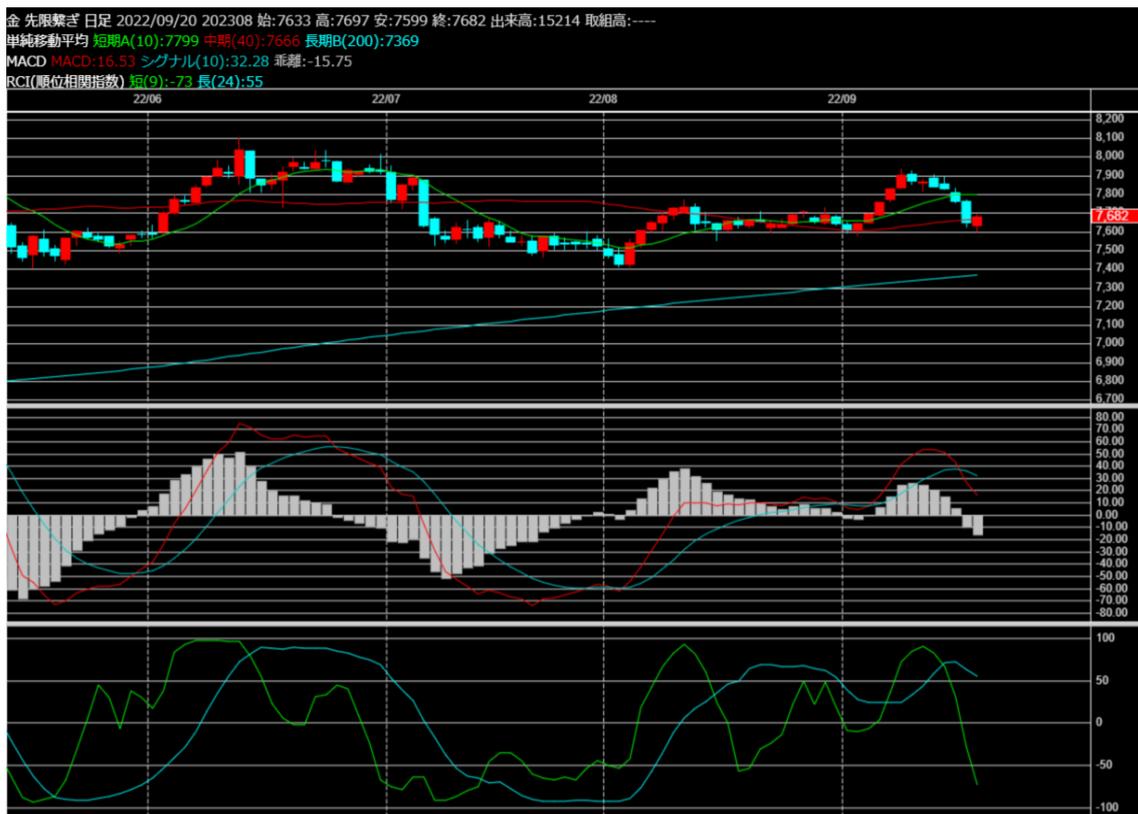


<金標準先物、ドルに対する信認が強く円安効果でも弱気相場・・・>



(出所：オアシス)

消費者物価指数（CPI）が前年比の事前予想である 8.1%を上回る 8.3%となるなど、インフレ抑制が強まり市場は 0.75%の利上げを完全に織り込み、過度な 1%の利上げも 3 割が示唆するなど、ドルの信認を強める結果となっている。また政策金利に近い短期 2 年債は 2007 年以来の 3.87%まで金利が上昇し、住宅ローン金利も 2008 年以来の 6%を超える上昇を見せている。

特に金利を生まない金は、ドルに対する信認が強まりを見せる中で、CPI の発表以降は 1746.4 ドルから 1661.9 ドルまで 84.5 ドルの下落を行っており、一部のアナリストは 1600 ドルに向けた下値追いを予想している。また 22 日はスイス中銀の金融政策会合が予定されており、前回 6 月に 22 年ぶりに 0.5%の利上げを実施し、今週に 0.25%の利上げを実施した場合はマイナス金利から脱却するため、日銀が唯一のマイナス金利採用の中央銀行となる。また過去のスイス中銀の金融政策変更では、2011 年 1 ユーロ : 1.2 フランの無制限介入、2015 年 1 月 1.2 フラン撤廃、2022 年 6 月 0.5%利上げ実施など全てで金価格は下落している事からも今週の FOMC、日銀、スイス中銀の動きには注意したい。

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD では **MACD** は下げながら **シグナル** も下げている。RCI は **短期** が下げ、**長期** が切り下げだすなど弱気基調に変化しており、一時的な自律反発を示しても基調の変化は難しく、戻り売りの値動きで 7600 円を下回る値動きには注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,718,000 円(2022 年 9 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 9 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>